



車両ナンバー 認識システム

1. 走行車両のナンバーを撮影・検出

ネットワークカメラで走行車両(時速60Km程度まで)のナンバーを撮影・検出します。

2. 市販のネットワークカメラを利用

AXIS製、Canon製及びSONY製ネットワークカメラに対応しているので、豊富なラインナップの中からカメラを選定できるほか、既設カメラをそのまま流用することもできます。

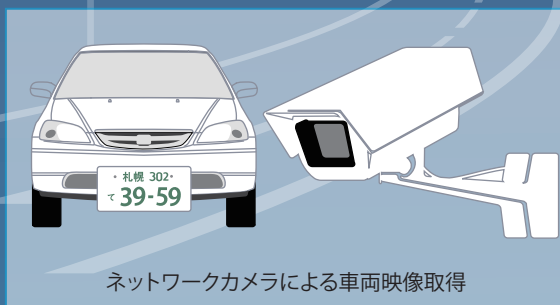
3. 外部センサー連動は不要

画像認識技術のみで車両ナンバープレートを検知するため、外部センサーで連動する他社システムと比較して、機器費や工事費の削減につながります。

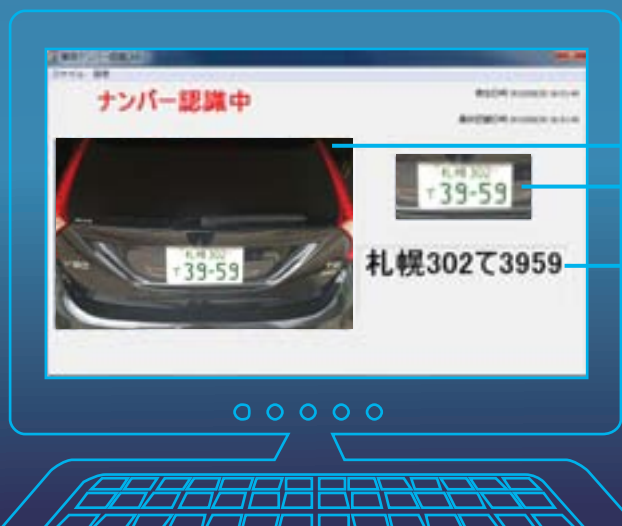
4. マーケティング、管理、調査にも活用

認識されたナンバーはテキストファイルとして自動的に出力されるので、オリジナルの管理ソフトなどを容易に開発することができます。

車両ナンバー認識の流れ



管理アプリケーション画面



1. カメラ撮影映像

車両ナンバーを検知した瞬間のカメラ映像を表示します。ナンバー部分だけではなく、検知車両の全体像を記録することができます。

2. 認識した車両ナンバー切り出し画像

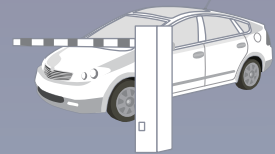
カメラ映像から自動的にナンバー部分のみ切り出して表示します。

3. ナンバー情報を自動生成

ナンバー情報を読み取り文字データにします。

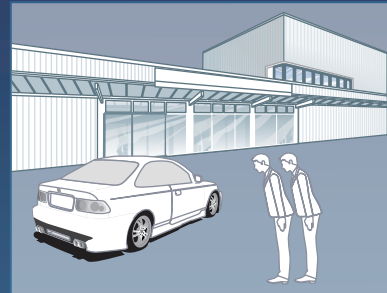
入退場の手続きを自動化

事前に登録したデータベースとナンバー照合することで、特定関係者の車両のみゲート解放することが可能です。また犯罪者の車両入場時にアラーム発報することも可能です。



販促ツールとして利用

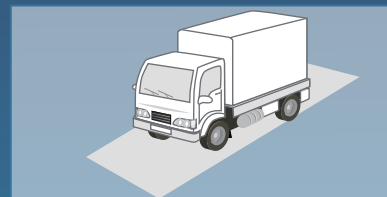
顧客情報とナンバープレートをリンクさせることで、車で来店した際、ナンバープレートから顧客情報を読み取ることができるため、顧客サービスの向上に繋がります。また車両の統計データ分析することで来客マーケティングにも活用頂けます。



ナンバー情報を保存

例) 産業廃棄物処理

トラックスケールによる計測と同時に車両ナンバーの認識を行い計測値と合わせてデータを保存することができます。



システム構成

ナンバー認識ソフトをインストールしたナンバー認識専用サーバでネットワークカメラ映像をリアルタイムで自動的に解析し、ナンバープレート情報を専用サーバ内にデータとして出力していきます。カメラは、AXIS製、Canon製及びSONY製ネットワークカメラに対応しています。



カメラ映像を管理サーバ内で画像解析処理するため、カメラ台数が多い場合でも、1台の管理サーバで集中管理することができます。1拠点あたりのカメラ台数が多い場合や複数拠点にカメラが分散している場合でセンター集中管理をご希望のユーザーに最適です。また、AXIS、Canon及びSONY製ネットワークカメラに対応しているので、豊富なラインナップの中からカメラを選定できるほか、既設カメラをそのまま流用することもできます。

機器構成一覧

1.	ネットワークカメラ (AXIS、Canon、SONY製ネットワークカメラ)
2.	PoEハブ ※ポート数は設置カメラ台数に依存
3.	管理サーバ (OS: Windows Server 2008、CPU: Intel Core i7以上、メモリ: 4GB以上)
4.	ナンバー認識ソフトライセンス

仕様及び性能

認識性能	
認識対象	中型番号標 (普通乗用車、軽自動車、小型・中型トラック等) および大型番号標 (大型トラック、大型バス等)
認識対象	地域名、分類番号、判別文字、一連指定番号
入力仕様	・動画ファイル (AVI) ・ストリーミングURL
出力仕様	認識結果: テキストファイル 認識画像: ナンバープレート切り出し画像を含む静止画像ファイル (JPEG)
認識精度 (参考値)	当社検証環境下 (※) 99%以上 ※屋外、昼、ナンバープレート幅180ピクセル以上
認識速度	平均0.3秒~3.0秒、平均約0.6秒

環境	
カメラ設置角度	垂直 (俯角): 0°~30° 水平 (左右): 0°~20°
撮影距離	カメラからナンバープレートまで5m以上
プレートの大きさ	180~200ピクセル

車両ナンバー認識システムのお問い合わせ

販売価格: OPEN

詳細やお見積りなどお気軽にお問い合わせください。

☎ 011-704-4321 ✉ marketing@systemk.co.jp